

# 年表

多賀城政庁跡遺構期

第Ⅰ期

第Ⅱ期

第Ⅲ期

第Ⅳ期

中国	朝鮮	日本	日本での主な事柄 (赤字は陸奥・出羽関係)	中国・朝鮮での主な事柄
		古墳		589 隋、中国を統一
		飛鳥	593 聖徳太子、摂政となる 600 遣隋使派遣 603 冠位十二階制定 / 604 十七条憲法制定 607 小野妹子を隋へ送る 法隆寺創建	
	三国		630 第1次遣唐使 (犬上御田鎌ら) 645 大化の改新 / 647 淳樞柵設置 / 648 磐舟柵設置 ・この頃、道奥国設置 658 ~ 660 越国守阿倍比羅夫北征 663 白村江の戦い / 664 筑紫に防人と烽火を配し、水城を築く 665 大野城、基肄城造営 ・この頃、天智天皇が大宰府観世音寺の建立を発願 672 壬申の乱起こる / 672 飛鳥浄御原宮へ遷都	618 李淵 (高祖) が即位し、唐を建国 621 開元通宝発行
			694 藤原京へ遷都 701 大宝律令成立 / 702 第8次遣唐使 708 和銅と改元し、和同開珣を發行 710 平城京へ遷都 712 越後国から出羽国分国 / 713 陸奥国置賜郡・最上郡を出羽国へ 717 第9次遣唐使 (阿倍仲麻呂、吉備真備、玄昉ら入唐) 718 養老律令成立 陸奥国・常陸国から石城国・石背国に分国 720 陸奥国で蝦夷が蜂起し按察使を殺害 出羽国が陸奥按察使の管轄となる 『日本書紀』成立 724 多賀城造営 / 727 ~ 919 渤海使来日 / 730 防人停止 733 出羽柵を秋田村へ移す (のち秋田城)	668 高句麗滅亡  676 新羅、朝鮮半島を統一 690 武则天 (側天武后) が唐の帝位につく 698 渤海建国
			737 大野東人、奥羽連絡路建設開始 / 740 大宰少弐藤原広嗣の乱 741 国分寺建立の詔 742 大宰府廃止 / 745 大宰府復活 / 756 観世音寺完成 749 陸奥国小田郡で金産出 752 東大寺大仏開眼 第12次遣唐使 / 754 鑑真が来日 760 桃生城・雄勝城造営 / 762 多賀城碑建立	713 玄宗による開元の治 (~ 755)
			764 藤原仲麻呂の乱 / 767 伊治城造営 771 筑前国を廃し大宰府に隸す / 774 海道蝦夷が蜂起し、桃生城炎上 780 伊治公皆麻呂が蜂起し、伊治城、多賀城炎上 / 784 長岡京へ遷都 786 ~ 795 胆沢の蝦夷を討つ	751 タラス河畔の戦いで唐がイスラム軍に大敗 755 安史の乱起こる (~ 763) / 756 楊貴妃、殺害
			794 平安京へ遷都 / 795 防人を廃止・藤原氏の台頭 801 坂上田村麻呂、蝦夷を討つ 802 胆沢城造営 / 803 志波城造営 / 802 ~ 808 鎮守府を胆沢城に移す 804 第18次遣唐使 最澄、空海ら入唐 805 平安京造営と蝦夷征討を中止 / 808 筑前国司を復置 812 頃 徳丹城造営 / 815 鎮兵全廃 826 大宰府の兵士を廃し選士・衛卒を置く 830・850 出羽国大地震	
			838 第19次遣唐使 (藤原常嗣、円仁ら、最後の遣唐使) 866 応天門の変 / 869 陸奥国大地震 878 元慶の乱、秋田城炎上	775 安史の乱起こる (~ 763) / 756 楊貴妃、殺害
			894 遣唐使の停止 ・五所川原で須恵器生産開始 (~ 10C 後半)	875 黄巢の乱起こる (~ 884) 880 黄巢軍により、洛陽、長安が陥落
			901 右大臣菅原道真、大宰権帥に左遷 934 陸奥国分寺七重塔、雷火で焼失 935 ~ 941 承平・天慶の乱 / 973 大宰府学校院焼失	907 唐、滅亡 五代十国の乱立 / 926 渤海、滅亡
			1016 藤原道長、摂政となる / 1019 刀伊の来寇 ・多賀城政庁の終末	936 高麗、朝鮮半島統一 / 946 契丹、遼建国 960 宋、建国
		1051 ~ 1062 前九年の役 / 1083 ~ 1087 後三年の役 1086 白河天皇、院政を始める 1099 藤原清衡、平泉に居館を移す / 1124 中尊寺金色堂建立		
唐		奈良		
		新羅		
		渤海		
		五代		
		契丹 (遼)		
		高麗		
		宋		